

国語科「国語総合」学習指導案

対象 1年C組（34名）
日時 平成30年10月22日（月）6校時
場所 1年C組教室
授業者 教諭 阿部 由佳莉

1 教材名 評論（一） 河合隼雄 『花女房』（第一学習社『新編現代文A』）

2 単元目標：文章の構成や展開を確かめ、書き手の意図をとらえる

3 学習目標：根拠を明確にし、書き手の意図を的確にとらえる

4 単元と生徒

学力は平均的であり、男子・女子生徒共に国語の能力が高い者も数名見られる。発言は活発に行われ、授業への参加意欲は高いと感じる。

その反面、根拠を明確にせずに発言や意見をしてしまう生徒の多さを感じる。本文に説明されている内容を正確に読みとらないまま、自分の主観をもとにして意見を述べ、読み取りを行ったことにしてしまう生徒が少数いる。本文を正確に読みとり、それをふまえた考察や意見を述べられるように指導をしていきたい。

5 教材観

本文の読み取りを行うにあたり、あまり分量が多すぎず、なおかつ筆者が本文中で自分の主張を深めるための叙述を複数おこなっている教材を用いたいと思い、この教材を選択した。日本の昔話とグリム童話との対比がはっきりしており、主張が明確であると判断した。構成の面でも本単元の目標や学習内容に即していると判断し、昔話という身近なテーマだからこそ、生徒が抵抗なく読解に入っていけることを期待した。

6 単元の学習計画（2時間計画）

第一時 … 自分たちが知っている昔話と比較し、本文の全体像をつかむ

第二時 … 本文中にある根拠をふまえ、筆者の意図を的確にとらえる ※本時

7 単元の評価規準

A 関心・意欲・態度	D 読む能力
・文章の構成や展開を確かめ、書き手の意図を捉えようとしている。（本時）	・文章の構成や展開を確かめ、根拠をもとに書き手の意図を捉えている。（本時）

A：関心・意欲・態度 B：話す・聞く能力 C：書く能力 D：読む能力 E：知識・理解

8 本時の指導計画

(1) 本時の目標：根拠を明確にし、書き手の意図を的確にとらえる

(2) 展開

	学習活動	指導上の留意点	評価の観点
導入 5分	○前時の確認 ○本時の目標の確認	・ 本時の学習課題を説明する。	
展開 ① 20分	○まとめた事柄をグループで比較する。 ○班内で話し合い、最もよくまとめることができていた人を1名選ぶ。	・ 班内でそれぞれの答えを発表させる。 ・ 選抜した理由を説明できるように話し合わせておく。 ・ 対比や具体例を生かして読みとることを助言する。	○文章の構成や展開を確かめ、書き手の意図を捉えようとしている。(A・観察)
展開 ② 20分	○選ばれた答えを板書し、黒板に書き発表する。 ○各班で話し合い ○全体で確認	・ 指導者が2班を選び、発表させる。 ・ 班で話し合った内容も合わせて説明させる。 ・ どちらの班の答えが良かったか話し合わせる。 ・ 数名を指名し、どのような話し合いになったのか説明させる。 ・ 同じ答えであっても、根拠をふまえることで筆者の主張が明確になったことを説明し、生徒に確認させる。	○根拠の読み取りを通して、書き手の意図を的確に捉えている。(D・観察)
まとめ 5分	○本時の学習の確認	・ 班内での話し合いによって気づいたことを、ワークシートに記入する。	○本時の振り返りを丁寧に行っている。(A・ワークシート)

A：関心・意欲・態度 B：話す・聞く能力 C：書く能力 D：読む能力 E：知識・理解

1年国語総合『花女房』ワークプリント

組 番 氏名

目標…書き手の意図を正確に読み取ろう

1、書き手がこの文章の中で主張しているのはどのようなことか。本文中の語句を用いて説明しよう。

--	--	--	--

2、メモ

Aチーム () 班

--

Bチーム () 班

--

【自己評価】書き手の主張は理解できましたか。

A

(理解できた)

B

(少し理解できた)

C

(理解できなかった)

地理歴史科（地理B）学習指導案

対 象 2年D組 31名

日 時 平成30年10月22日 6校時

場 所 2年D組

教科書『新詳地理B』（帝国書院）

『新詳高等地図』（帝国書院）

指導者 三浦 貴子

1 単元名 第Ⅱ部現代世界の系統地理的考察 3節日本の自然の特徴と人々の生活

2 単元設定の理由

この単元では系統地理的な視点で日本の自然環境の特徴を地形・気候をもとに考察する。日本列島は4枚のプレートが会う世界でも特異な位置にあり、このため地殻変動や地震・火山活動が活発で、山地が全体の約7割を占める。また、モンスーンの影響を受け四季が明瞭で湿潤であるため、生物多様性に富み、豊潤な自然環境を形成している。しかし、地震・火山災害や風水害などの自然災害においては人災的な側面も大きい。このような点を踏まえて、日本の自然環境の特徴を地形・気候から捉え、日本が自然災害の生じやすい地域であることを理解させるとともに、防災・減災について考察させることをねらいとする。

3 単元と生徒

対象生徒は第2学年理系コースの生徒である。将来に向けて授業には真面目に取り組んでいる。地理の学習に対して、基本的事項を理解し知識を習得しようとする積極的な意欲は見られるが、自ら問題点を見つけ考察する能力が不足している。そのため地理の学習は、暗記教科という意識が強い。資料を活用して地理事象の中から問題点を自ら考え、それを論理的に説明する力（思考力・判断力・表現力）を定着させることが課題である。

4 指導方法

この単元では、日本の地形と気候の成因やメカニズムを理解させること、また、日本の地形と気候の特徴を人間生活の営みと関連づけて論理的に説明できるようになること、さらに近年発生している自然災害を理論的に説明することができ、防災・減災に対して主体的に考えることができることに主眼を置く。そのためにグループ学習での討論を取り入れ、自分の考えを論理的に相手に伝える表現力や論理的に説明する力を養いたい。

5 単元指導目標

- ・日本の自然環境について問題意識をもち、意欲的に追究しようとしている。（「関心・意欲・態度」）
- ・日本の自然環境の成因や特徴を多面的・多角的に考察し、それをグループ討論・発表などの言語活動を通じて、考察した過程や結果を適切に表現している。（「思考・判断・表現」）
- ・地図や写真、表、グラフから有用な情報を読み取り、まとめることができる。（「資料活用 of 技能」）
- ・日本の自然環境の成因や特徴を理解し、その知識を身につけている。（「知識・理解」）

6 指導計画（全4時間）

1 日本の地形（1）

2 日本の気候（1）

3 開発に伴う災害と防災（2）

- ・日本に生じやすい自然災害およびその防災・減災への取組を、討論活動を通して指導する。
- ・討論活動のまとめを根拠にもとづき論理的に説明する。（発表）（本時）

7 本時のねらい

近年発生している自然災害についてグループでの討論活動で問題意識をもち、それを論理的に相手に伝える表現力や論理的に説明する力を養いたい。

8 指導の過程

	学習活動	教師の支援	評価の観点
導入 （5分）	・前時の確認 ・各班の発表の準備	・本時の目標の確認をさせる ・各班の発表順の確認をさせる	
展開 （36分）	・各班の発表時間は5分以内（移動時間1分） ・各班は、班で作成した模造紙等を利用し発表する ・他の生徒は、ワークシートに発表した班の内容をメモする ※質問は最後に行う	・発表がスムーズに進むように助言する ・ワークシートの記入状況を指導する（机間巡視）	・発表班 思考・判断・表現 ・他の生徒 関心・意欲・態度
まとめ （9分）	・他の班からの質問を受ける ・感想を記入する	・全体の発表に対してコメントする	・ワークシート 関心・意欲・態度

本時の目標

●自然災害について考えた内容をわかりやすく説明することができる。

保健体育科（保健）学習指導案

対 象：秋田県立新屋高等学校 2年E組 32名
日 時：平成30年10月22日（月） 6校時
場 所：2年E組教室
授業者：小森美希

1 単元名

生涯を通じる健康『保健サービスとその活用』（使用教科書：大修館書店 最新高等保健体育）

2 単元の目標

- （1）地域の保健・医療機関の活用について、課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとすることができるようにする。（関心・意欲・態度）
- （2）地域の保健・医療機関の活用について、学習したことを個人及び社会生活と比較したり、分析したり、計画を立てたりすることができるようにする。また、筋道を立ててそれらを説明することができるようにする。（思考・判断）
- （3）生涯を通じて健康を保持増進するには、保健・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが重要であることについて、理解したことを発言したり、記述したりすることができるようにする。（知識・理解）

3 単元と生徒

（1）教材観

生涯を通じて健康を保持増進するには、生涯の各段階と健康との関わりを踏まえて、場面に応じた適切な意志決定や行動選択が必要である。全ての段階において、検診などを通して自己の健康上の課題を的確に把握し、地域の医療機関及び保健サービスなどを適切に活用していく必要性を理解させることが求められている。これまで、保健サービスについて、あまり意識したことがないと思われるが、実際に行われている事例等について理解させることで、今後の生活においての積極的な活用につなげたい。

（2）生徒観

真面目な生徒が多く、落ち着いた雰囲気です。授業に取り組むクラスである。しかし、消極的な生徒が多いため、発言しやすい環境設定やグループ活動を活発にするための工夫が必要である。

（3）指導観

高校生にとって、地域の「広報誌」を手にしても、保健サービス等に注目することは少ないと思われる。身近な「広報誌」を活用しながら、それぞれの地域によっての特徴を見つけたり、生涯を通じて、年代や立場に合わせて必要な保健サービスを利用できる環境が整えられているということを理解させたい。また、現在及び将来の生活において、健康的な生活行動の選択が実践できる力を身に付けさせるようにしていきたい。

4 指導と評価の計画

第2単元 生涯を通じる健康 イ 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関（6時間）

1. 医薬品とその活用（2時間）
2. 医療サービスとその活用（2時間）
3. 保健サービスとその活用（本時2／2時間）

時間	学 習 活 動	評 価 規 準		
		関心・意欲・態度 (A)	思考・判断 (B)	知識・理解 (C)
1	医薬品の種類や販売の制限、正しい使用方法について理解する。 理解したことをまとめ、発表する。	周囲と意見交換したり、発表したりするなど、意欲的に取り組もうとしている。		医薬品の種類や販売の制限、正しい使用方法について、理解したことを発言したり、記述したりすることができている。
2	医薬品の副作用や薬害、安全性をめざした対策について理解する。		実生活と結びつけながら、副作用や薬害、安全性向上のための役割や取り組みについて、分析し、それらを説明することができている。	副作用や薬害、安全性をめざした対策について、理解したことを発言したり、記述したりすることができている。
3	医療機関やさまざまな医療関係者について理解する。 医療保険の仕組みについて理解する。	周囲と意見交換したり、発表したりするなど、自ら進んで、意欲的に取り組もうとしている。	自分たちの健康や医療を支えている存在や、仕組みについて考え、それらを説明することができている。	
4	医療機関の役割や医療サービスを活用するために必要なことについて理解する。 病院の選び方について考え、発表する。		これまでの自分の行動について振り返り、事例を当てはめて考えたり、分析したりし、それらを説明することができている。	医療機関の役割や医療サービスを活用するために必要なことを理解し、具体例をあげて発言したり、記述したりすることができている。
5	保健行政の役割や4つの分野の組織、活動内容について理解する。	周囲と意見交換したり、発表したりする際、メモを取ったり、内容を確認するなど、意欲的に取り組もうとしている。		保健行政の役割、4つの分野の組織、活動内容について、理解したことを発言したり、記述したりすることができている。
6 本時	保健サービスの内容や地域の保健所、保健センターなどの活用について理解する。 理解したことを発表し、まとめる。		保健サービスの内容について、資料で調べたことをもとに、比較したり、分析したりして、それらを説明することができている。	提供されている保健サービスや活用の必要性について、理解したことを発言したり、記述したりすることができている。

5 本時の計画

(1) ねらい 提供されている保健サービスについて理解する。

(2) 授業展開

過 程	学 習 活 動	教 師 の 支 援	本時の評価規準との 関連と評価方法
導 入 5 分	○前時の復習をする。	○ペアワークで前回学習した内容を確認するよう指示し、学習内容の定着を図る。 ○本時の目標を提示する。	
展 開 40 分	発問 『どのような保健サービスが提供されているかまとめてみよう』 ○グループに分かれる。 ○発表、説明する。 ○他のグループの発表をプリントにまとめる。 ○提供されている保健サービスについて理解する。 発問 『活用したいと思う保健サービスを発案してみよう』 ○実生活と結びつけながら、保健サービスを考える。 ○広報誌以外で得られる情報源について理解する。	○グループごとに異なる資料を配付する。 ○机間指導しながら、必要に応じて助言する。 ○単に、まとめたものを発表するのではなく、根拠をふまえて自分の考えや感想等も含めて述べるよう、発表のルールを提示する。 ○ワークシートに他のグループの発表内容をまとめるように指示する。 ○地域によっての特徴があることについて説明する。 ○机間指導しながら、支援が必要な生徒には、具体的な場面のヒントを与える。 ○新聞やインターネットなどで提供されている情報を紹介し、積極的に収集することの重要性について説明する。	(B) 観察 グループ活動 (C) ワークシート
まとめ 5 分	○学習内容をまとめる。 ○次時の説明を聞く。	○本時の学習を、ワークシートにまとめるよう指示し、課題について説明する。 ○次時の説明をする。	(C) 観察 ワークシート

9. 保健サービスとその活用

組 番 氏名

本時の目標

① どのような保健サービスが提供されているかまとめてみよう。

[]

・ 他の班の発表を聞いて、他の地域の保健サービスについてまとめてみよう。

[]

[]

[]

[]

[]



② 活用したいと思う保健サービスを発案してみよう！

・どのような人たちを対象に？

・どのような内容？

・理由は？

～学習の振り返り～

○自己評価

◆提供されている保健サービスについて理解できたか。

理解できた

少し理解できた

あまり理解できなかった

理解できなかった

4

・

3

・

2

・

1

○課題

◆「保健サービスとその活用」を学習しての感想を書いてみよう。

